

1. 件名「リサイクル燃料備蓄センターの使用済燃料貯蔵事業変更許可申請に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（1）」
2. 日時：令和4年1月27日（木）10時00分～11時00分
3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室
4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）
原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：
岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、
中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、
松末技術参与※
リサイクル燃料貯蔵株式会社 むつ本社：
赤坂常務取締役 リサイクル燃料備蓄センター長 他1名※
同 東京事務所（自宅より出席）：
品質保証部長 兼 安全審査担当 1名※
同 東京事務所：
貯蔵保全部 土木建築担当 2名※
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 提出資料：
 - ・「使用済燃料貯蔵事業変更許可申請に係る新規制基準への適合確認に関するヒアリング」提出図書リスト
 - ・【資料1-1】リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 基準地震動の作成（標準応答スペクトルを考慮した地震動評価）
 - ・【資料1-2】リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 使用済燃料貯蔵施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について（基準地震動（Ss-B5）による地震力に対する安定性評価）

- ・【資料2-1】リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 敷地周辺の地質・地質構造について（20万分の1地質図幅「野辺地」（第2版）について）
- ・【資料2-2】リサイクル燃料備蓄センターにおける津波評価方針の変更のうち、仮想的な大規模津波の策定について（内閣府（2020）及び青森県（2021）に対する考察）
- ・【資料2-3】リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 火山影響評価（日本の火山（第3版）データベース更新内容の反映）
- ・【資料3】補足説明資料 添付書類四 「5. 地震」 抜粋

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁の岩田と申します。よろしくお願いたします。音声画像大丈夫でしょうか。
0:00:06	はい。よく聞こえております。はい。
0:00:09	こちら東京事務所、よく聞こえております。はい。ありがとうございます。はい。そうしましたら、ではもう1個聞こえております。
0:00:16	はい、ありがとうございます。そうしましたらですねただいまからヒアリングを開始したいと思いますので、資料の説明をお願いしたいんですがまず資料1-1をお願いできますでしょうか。
0:00:28	はい。
0:00:30	それではちょっと一応1-1とですね、地盤安定性関係が関連しますんで続けてご説明ということでよろしゅうございましょうか。
0:00:40	個別にいたしましょう。
0:00:43	そうですね。1-1、1シリーズを最初にお願いします。
0:00:48	はい、わかりました。それでは、基準地震動の策定のうち、標準応答スペクトルを用いた地震動の策定についてご説明いたします。
0:00:57	1ページ目次でございますけれども、ここでは、その並んでおります通り、
0:01:03	何か
0:01:09	地震動の評価方針とそれから地盤モデルの設定それから模擬地震はの、地震基盤で検討した後に、
0:01:17	地盤モデルで介護基盤まで上げて、既往の基準地震動を比較して基準地震動を決定するという流れでご説明をしたいと思います。
0:01:26	2ページをお願いします。
0:01:28	敷地の解放基盤は、標高-218メートルの位置に設定しておりますけれども、標準応答スペクトルは地震基盤面で定義されるということでございますので、
0:01:40	断層モデルの地震動評価で用いたモデルの下端が、Vs 3500、3150メートルパーセクということでありますことから、この位置を地震基盤として、地震動の定義をしております。
0:01:53	それから地盤モデルにつきましては、基認可の地盤モデルをそのまま用いるということにしております。
0:02:00	茂木自身はは、一応乱数魚用いた波を代表発行して作成しております。
0:02:06	これに加えます、敷地の観測記録の位相を用いた地震はどう、比較を行うために、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:14	本資料で本日、エネルギースペクトル、それから累積全体速度ということ載せておりますけども、
0:02:22	先日の原電さんのヒアリングでご説明、この部分についてコメントがあったというふうに伺っておりますので、ちょっと変更方針を、後程ご説明したいと思います。
0:02:30	それから、この結果一応乱数を代表者として選定いたしまして、地盤モデルの解放基盤を評価した上で、麒麟かとを比較をした上で、基準地震動を決めるということでございます。
0:02:44	それから3ページをお願いいたします。
0:02:47	ここに地震基盤から上の地盤モデルを載せておりますけれども、これは既認可で断層モデルの評価に用いた地震動評価で用いた地盤モデルと、
0:03:00	同じものをそのまま用いるということにしております。
0:03:04	それから4ページでございますけれども、もう御説明も、釈迦に説法でございますけれども、標準応答スペクトルに基づきまして、
0:03:14	地震動を作成して、その際には、観測記録の位相を用いた地震版を作成して、両者の比較を行うということ考えてございます。
0:03:26	それからその次のページ、5ページでございます。
0:03:30	模擬地震はの、振幅包絡線でございますけれども、
0:03:35	本日お出ししました資料はマグニチュード6.9ということで作ってございます等価震源距離は10キロでございます。
0:03:42	我々も各社さんで、これについてコメントがあることは認識しております。
0:03:51	それから、自身は作成をした上、元の下、6ページでございますけれども、適合度について6ページに示してございます。
0:04:02	それから、
0:04:03	7ページでございますけれども、実観測記録の位相を用いた模擬地震作成ということで、
0:04:12	敷地のところから30キロ圏内のところで、内陸地殻内地震の記録を収集して、
0:04:20	分間敷地の観測位相を用いた地震を作成しております。
0:04:26	で用いる位相は、30キロ圏内から敷地に近くて、加速度が大きい振幅として、図面上に赤字主赤丸をつけておりますけれども、
0:04:36	その2011年5月3日の記録というものをを用いることとしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:41	その策定した結果が、8ページでございまして、は形をそこに示してございます地震基盤面での発表を示してございます
0:04:51	それから最後適合度が9ページでございましてけれども、
0:04:58	規定の数字を満足しているということでございます。
0:05:04	10ページでございまして。観測記録で用いたものと、
0:05:09	それから、位相を用いたものと、ら一様乱数の比較を、これは地震基盤で比較をしておりますけれども、両者に大きな差は認められないということになってございます。
0:05:22	それから、11ページ以降でございましてけれども、ここはエネルギースペクトルでありますとか、CMといった比較をしておりますけれども、地震基盤で比較するというよりは、解放基盤のスペクトルで、
0:05:38	比較するほうが適切であろうということでございましたので、
0:05:41	これは割愛をいたしまして、修正をすることとしたいと思っております。
0:05:48	それから、15ページでございましてけれども、地盤の地盤モデルの入力位置でございましてけれども、
0:05:58	V s 2200 を超える層ということで、我々の地盤モデルで要するに、2200 を超えるというのが、マイナス 1700 メートルのところの 3150 と。
0:06:09	郵送でございましてので、ここを入力位置として決定しております。
0:06:14	それから 16 ページでございましてけれども、これで解放基盤の標準応答スペクトルを評価した結果が、S P E C T 図とは形として。
0:06:26	記載してございます。で、修正の際には、この応答スペクトルを追加いたしましたましてですね、一応乱数と。
0:06:39	それから一実観測位相、この比較を、
0:06:43	このページの後に追加をしたいと思っております。資料修正が間に合っております。おりませんで申し訳ございません。
0:06:50	それから 17 ページでございましてけれどもそれと S s の比較ということでございます。
0:06:55	一部周期体でこれを超過するということでございましてので、これを新たに基準地震動として追加するというようにしてございます。
0:07:04	それから 18 ページは、その地震動を含めてすべての基準地震動の重ね書きのスペクトルを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:12	追加した、記載しておりまして、ここでは新しい地震動 S s B5 として追加をしてございます。
0:07:20	それからそれらのすべてのは系につきましては 19 ページに一覧の形で
0:07:27	は系を載せております。
0:07:29	最後にハザードスペクトルとの関係でございませけれども、実際の通り、今までの評価結果と同程度のものでございまして、
0:07:43	寄与既許可の評価等を変更することにはならなかったということでございます。
0:07:51	すいません。拙速でございませけれども、説明以上でございませ。
0:08:05	言っていましたよね。
0:08:06	あと 1-2 も引き続いてお願いできますか。
0:08:09	はい。
0:08:12	では 1-2 地盤安定性解析の結果でございませ。
0:08:16	1 ページには、評価の内容のまとめが書いてございませけれども、許可では S S F S S。
0:08:26	B 版から B4 で、基礎地盤の滑り、支持力、それから、
0:08:31	基礎底面の傾斜評価を行ってございましたが、同様の評価を今回の S B O についても行ったということでございませ。
0:08:39	それから、3 ページをお願いします。
0:08:42	ここでは、評価方針でございませけれども、許可の方針をそのまま踏襲しておりまして、
0:08:52	地震を追加したことによって、評価方針の変更はございません。
0:08:57	それから 4 ページでございませけれども、評価項目につきましても、前回は踏襲して同じものを評価するというようにしてございませ。
0:09:06	それから 5 ページにはですな先ほどと同じでございませけれども、用いる派遣の一覧を表の形で示してございませ。
0:09:14	6 ページをお願いします。6 ページは、今までの評価結果の一覧を並べまして一番右側の列に、今回追加した S B 5 の結果を示してございませ。
0:09:26	このうち S S B 5 につきましては、許可の S B A 1 による滑り安全率に、の 2.1 ということを上回ることから、
0:09:36	許可の辺、評価に変更はありませんということでございませ。
0:09:41	それカラー、7 ページでございませけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:46	地盤のばらつきを考慮した場合ということで、これは最大ケースを対象に検討を行っておりましたので、S s - D による評価ということで、既許可の内容に変更はございません。
0:09:58	それから 8 ページでございますけれども、
0:10:03	すいません、支持力の評価でございますけれども、同じく一番右側の列に設備 5 の結果を平野を追記してございますが、
0:10:12	評価された結果は、評価の S s - A による 1.37 という値を上回ることがないから許可の辺評価に変更はございません。
0:10:25	最後に傾斜の評価でございますけれども、9 ページでございます。
0:10:31	これにつきましても、S B 5 のよる評価はですね、S s - D による評価よ、1 万分の 1 を下回ることから、
0:10:42	これについても評価の結果の評価に変更はございません。
0:10:48	それから 10 ページでございますけれども、液状化でございます。
0:10:52	追加された S B 0 に対する議場化の検討につきましては、同じ既許可と同じ手法で評価を行うということにしております。
0:11:02	それから 11 ページでございますけれども、S B 5 に対する判定値。
0:11:09	F L 値というのが 0.635 ということになっておまして、
0:11:14	精製、及び B 4 の F L 値の評価というものを、下の下回ることから、
0:11:20	許可の変更評価に変更はないということになってございます。
0:11:24	最後に、12 ページのまとめでございますけれども、先ほどご説明した通り、S s - D 5 を加えても、基礎地盤の安定性に関する評価に変更はないということでございます。
0:11:38	13 ページはまとめでございますけれども、同様の内容で
0:11:44	許可の返還内容に変更がないということを書いてございます。
0:11:49	参考資料として 14 ページ以降何ページかつけておりますけれども、設備部に対する検討ケースが何件かございますけれども、それについて、具体的な数字を付録として、検討してございます。
0:12:04	説明は以上でございます。
0:12:07	ありがとうございました。規制庁側からですね確認事項等あればお願いします。
0:12:13	はい。規制庁の佐藤です。何点か確認をさせていただきます。
0:12:17	月曜日に日本原燃とヒアリングをやりまして、その情報もしかして御社でも、
0:12:27	共有されているように今のご説明では思ったんですけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:32	あまり資料の構成をね、菅の資料の内容をちょっと変える多分あまり時間がないと思うので、後でし、これだけ入れて欲しいということは申し上げますけども、先に中身の方、すみません確認させてください。
0:12:46	5 ページの、
0:12:51	この地震規模と等価震源距離、地震規模 6.9 と、それから等価震源距離 10 キロとしてますけどもちょっとこの考え方だけですな少し
0:13:01	ご説明を補足でお願いしたいんですが。
0:13:05	はい。
0:13:07	四国電力さんとお話もありました通り、今までの実施Mwの地震規模なんかを変換して、今 6.9 ということにしてございます。
0:13:24	規制庁佐藤ですけども、はい。確かに四国電力とかに指摘はしているんですけども申請ベースのですね、少し御社の考え方っていうのをですね。
0:13:35	もう少しお話しただけるといいんですが、申請ベースの考え方でお願ひします。
0:13:40	そうです。はい。
0:13:41	衛藤。震源特定せずMw6.5。
0:13:47	というのをですねベースに、それを各式で変換をして、
0:13:54	それで変換した結果が 6.9 ということになっております。
0:14:02	震源を特定せずということでございましたので、Mw6.5、それを竹村式でしたっけ、あれで変換をいたしまして、
0:14:10	変換した結果が 6.9。
0:14:15	四捨五入して 6.9 ということで、
0:14:18	今の地震規模を決めてございます。
0:14:21	以上でございます。はい。等価震源距離もす。そういうことなんですかね。ストーリーに類似した先行サイトに類似した考え方。
0:14:31	いうことなんですか。はい、わかりました。
0:14:34	あとは、
0:14:35	うん。
0:14:36	と。
0:14:38	これ自身、
0:14:40	観測の実観測記録で
0:14:43	等計算しているところがあるんですが、これ地震計の位置とかですね、ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:50	入れていただきたいと思うんですが資料に一応資料には書いてはいるんですけどね。
0:14:57	はい。
0:14:58	承知いたしました。の情報をちょっと入れた位置というのは平面的な。
0:15:02	深沢副社長はパーセントですねはい。
0:15:06	アイコス。
0:15:30	すいませんあとは15ページはこれ構造は変えていませんというふうなことです。
0:15:37	はい。その通りでございます。私も既許可の資料で確認しました。
0:15:43	それから、16ページは、うん。さっき
0:15:50	ご説明いただいたように、これは
0:15:54	茂木茂木自身は入力して、
0:15:57	盛自身はマースのスペクトルなんですだけなんですけどもここに
0:16:02	観測記録のやつも一緒に重ね書きしていただけるとわかりやすいと思います。ここだけはお願いします収載ちょ。
0:16:10	はい。
0:16:11	そうしました。
0:16:13	結局、18ページで最後のところなんですけど今回のS s - b Vっていうところ。
0:16:22	にちょっと注目しますと、
0:16:24	水平動とも延長があっても結局は短周期のところはちょっとS s - Aを上回っていると、水平動は1秒から2秒ぐらいちょっと頭。
0:16:34	出てるような気がするんですけどそこがやっぱり今回出てしまったっちゃうことなんですかね。
0:16:41	そうですね。建物とか機器の使用周期のところはそれほど大きくないんですけども
0:16:46	ちょっと外れたところ、なってるというイメージでございます。わかりました。
0:16:53	あとは、ちょっと資料コセイの話で、安定性の説明され、
0:16:59	たんですけどもちょっとこれはですね安定性の資料は、
0:17:03	多分今回ここまで詳しくご説明いただかなくてもいいので、原燃さんの資料もしかしてご覧なられてるかもしれませんけども、
0:17:13	1枚ですね、地震動の方の資料1-1に1枚ですね、I S S伸び、今回追加したB Vをいっぱい入れても

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:27	企業家に影響はありませんっていう説明を多分1枚紙でしていただいた方がいのではないかなと思っていますと。
0:17:36	はい、承知しました。その中にちょっと図面をですね、入れていただきたいと思うんですけども。
0:17:43	引地の建屋の図面とその、
0:17:47	2断面切ってるその、
0:17:49	線を入れていただきたいんですけども
0:17:54	はい、承知しました。
0:17:57	それで資料1、
0:17:59	ということでパッケージにさせていただけると。
0:18:03	よろしいかなと思います。
0:18:07	とりあえず私から以上です。承知しました。
0:18:15	規制庁ナガイです。私からですね2点ほど確認したいんですけど、とともに一様乱数の位相を用いた時の作成方法のところ、
0:18:26	なんですけども。
0:18:27	まず1点は、
0:18:31	今回作成されたもの。
0:18:34	その適合度とかのコミット6ページですかね。
0:18:40	水平が短周期これ大きいのを使ってますけども、
0:18:45	例えばこれが1より1に近いものとかっていうのを探したりとか検討されたりということは事実としてやっ。
0:18:52	であるのか否かっていうのを教えていただけますか。
0:18:56	難波が作った中で、適合度がいいものを今ここに載せております。
0:19:07	はい、わかりましたで、もうちょっと、今のところでは、説明をしたかったんで、ちょっと突っ込ませていただきます。他に作った波の方で、
0:19:16	解放基盤表面まで伝播させたというのは、実際にあるのか否かっていうのは、
0:19:22	いかがですか。
0:19:25	うん。
0:19:26	今、選定をした後に上に上げておりますんで。
0:19:30	申し訳ありませんけどちょっと解放基盤まで上げる作業はしていません。
0:19:35	はい、わかりました。で、
0:19:38	次にお聞きしたいのは今その上げるという作業の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:42	上げる前と上げた後のですね、最大家族どう。
0:19:48	を叩いているタイミングというのは、違っているんですけどもこの要因ってというのは、何らか検討されてますか。
0:19:57	すみませんちょっと今意味がちょっと。もう一度お願いします。はい。上げた後の、
0:20:02	上げる前には、5 ページですよ。
0:20:06	播磨への派遣で上げた後の形が 16 ページに、
0:20:12	半径ですねはい。ページと 16 ページはあると思いますが、水平動の鉛直動もいずれも、5 ページの解放基盤、直接、地震基盤相当面での、
0:20:25	最大値の時間と、解放基盤表面に上がった後での最大加速度の時間って異なってますよね。
0:20:32	はい。
0:20:34	梅本最大加速度 I T 企画課最大加速度ではなくなって、違うところより小さかったところが最大加速度になるということになってますけどもこの要因について何らか確認をされてますか。
0:20:47	伝播距離がですね、非常に長いんですねその間で重複反射起こしますんで。
0:20:54	必ずしもその直達で一番大きいところが上で大きく出てくるということはないのかなというふうに考えております。
0:21:05	はい。そういう考えだとしたら、どう周期であれば、同じものがあって同じことが起こるんで、結果的な。
0:21:15	時間が両方とも同じように税だけで変わらないと思うんですけども。
0:21:19	これ両方とも最大加速度 0.02 秒の C T で見るわけだから、それだけとは限らないと思うんですがいかがですか。
0:21:31	ちょっと質問の意味は、すみません私の知識ちょっとついていけなかったんですけど、えっと、
0:21:38	時間、最大時間のずれが、
0:21:41	なぜ起きるかってことではないんでしょうか。ちょっと今、今の伊佐空の方で考えてる考え方だと。
0:21:50	水平動も鉛直動も同じ挙動を示すと思うんですけども。
0:21:55	時間がずれてますよね。
0:21:59	また、そそう分割が同じであれば、同じような時間に出てくるんではないかという、あと挙動として重複反射が理由であれば、
0:22:07	同一の現象が生じるはずで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:10	同じことが起こるはずなんでそれだけでは理由はないと思うんですけども。
0:22:15	ということで、他に何か理由とか考えてないですかっていうことですね。
0:22:20	そこまでちょっと考えが至っておりませんで、少し考えさせていただきたいと思います。
0:22:25	わかりましたでも仕方の。
0:22:28	既許可の日の地下構造の検討かなんかで、
0:22:31	関連するような情報があれば、ちょっと探っていただいて、
0:22:36	確認だけしていただけると、我々の理解の上でも、
0:22:41	非常に有益な情報等で確認をしていただければと思います。
0:22:48	はい。ちょっと今にわかにお答えできないのでちょっと検討してお答えできるように準備したいと思います。化といった新たな解析をしようという意味ではなくてですね、今までの情報の中で説明できれば、情報の中で説明。
0:23:01	できるようなものを探してくださいという程度ですので、新たに何か分析をするということではございませんので、
0:23:07	その点ご理解ください。
0:23:09	私から以上です。はい、ありがとうございます。
0:23:20	他に何かありますか。
0:23:24	すみません規制庁の岩田ですけれども少し細かい話なんですけど、
0:23:28	6 ページのところなんですけれども、
0:23:33	表の中にですね植野山根にはですね。
0:23:38	全周期体で 0.85 以上って書いてあるので、何かこの表の表という数の中にですね 0.85 のののの点線かなんか入れていただけますか。
0:23:48	はい、承知いたしました。はい。あと先ほど佐藤の方から指摘がありましたけれども 7 ページのところなんですけれども。
0:23:55	どんな地震かというのは一般的には何か他のプラントを見てると表にしてですね、例えば、地震のタイプとかですねカタログみたいのを書いてるので、
0:24:04	こちらも二つしかないんで、簡単につくれると思うのでそういった表にして、今回はこっちを使いますということを説明していただいた方がわかりやすいと思うので、先ほどのコメントに追加してですね、
0:24:16	今申し上げたようなことで対応できますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:20	はい、承知いたしました。
0:24:22	はい。
0:24:22	あとですね8ページのところなんですけど月曜日の原燃のそうだったんですが、この最大加速度ですね、これ
0:24:31	観測記録で作ったものが
0:24:34	制限は作ったものとですね同じになってるんですけど、これは何か補正されてるんですか。
0:24:42	振幅包絡線なんかをターゲットすべきと同じにしていますんで、
0:24:47	その結果として位相は違うけれども最大値は同じになっているということでございます。
0:24:52	わかりました特に補正とかはせず一緒になりましたとそういうことでよろしいですね。
0:24:57	はい。
0:25:00	はい。
0:25:01	と、あとですね最終的には先ほど説明にもありましたけども、累積絶対速度の説明はされないということのようなんですけど、一応乱数を選ぶ陸理屈はどのように書かれますか。
0:25:17	一番地震基盤で検討したのも地盤モデルで上に持ち上げて、
0:25:23	それで何だ、解放基盤での一応乱数等、実質観測位相の応答スペクトルを重ね書きをしまして、
0:25:33	それに大差がないということを示した上で、一応ランスを大評価としましたというご説明をしたいと思います。わかりました代赭がないと言っても多分その出っ込み引っ込みあるわけで、皆さんの場合ね何ていうかねプラントがシンプルというか、
0:25:48	いわゆる、
0:25:50	キャスク自体の固有周期と、あとは建屋については多分これ影響評価されてるだけですよね。
0:25:56	実際には、C加来Sですか。
0:26:01	ビーカー越えスピーカークエスチョンなってるわけです。はい。はい。SSですはい。
0:26:06	そうすると着目するのはキャスク本体だけになるので例えば、キャスクの固有周期どの辺にあるんですかという線を引っ張ってもらってそれを見ればですね、どっちを選ぶかというのはもう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:17	自明なので、そういう何か説明のアプローチもあるかなと思ったんですがいかがでしょう。
0:26:22	はい。
0:26:24	追加をさせていただきます。ちなみにちょっと蛇足ながら申し上げますと、本日上げた結果示してないんですけれども。
0:26:33	出せるかな。
0:26:36	10 ページでご覧いただいた傾向とですね、ほとんど変わらない結果になっておりまして、
0:26:55	今、画面でご覧いただいているのが解放基盤に上げた時の、両者の比較でございます、
0:27:02	この程度の浅井でございますので、一応乱数を用いたものを代表化とするというご説明を差し上げようと思っております。
0:27:10	さらにここにキャスクの固有周期を、を追記してご説明するような形で提出をしたいと思っております。以上でございます。
0:27:21	はい、わかりました。
0:27:23	あとは、先ほど佐藤からコメントがあったように
0:27:30	安定性の評価ですね、これもうまとめて1枚で私もいいと思いますので、一つの資料として、簡潔にご説明いただければと思います。
0:27:37	大体これ説明時間はどのぐらいかかりますか。
0:27:43	二つ合わせて1枚であれば十分もあればいいかなと思っております。十分ぐらいわかりました。で、ですねちょっと気が早いかもしれませんが本件についてはですね。
0:27:53	一応審査会合内を早めにやりたいと思っております、2月4日に考えてるんですが、対応というのは可能ですか
0:28:03	ちょっと今の資料の修正がありましてですね、1週間前の下の資料提出となると、明日になっちゃう。
0:28:13	ちょっとそこまでの、下までの修繕とちょっとし正直ちょっと厳しいんですけれども資料についてはですね来週の月曜とかでも構わないので、それでは、
0:28:23	いかがですか。
0:28:26	はい、承知しました。
0:28:28	はい。一応ですねそのように考えておりまして原燃と一緒にやろうと思っております。原燃最初で御社2番というそういう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:37	つもりでありますので説明についてもですね、少し原燃で新田様な話があるんであればですね、そこは端折っていただいて結構ですんで説明の仕方についても少し工夫をしていただければと思います。よろしく願いします。
0:28:50	はい、承知いたしました。
0:28:52	はい、じゃあ他にご意見よろしいでしょうか。
0:28:55	1点よろしいどうぞ。
0:28:58	先ほど
0:29:00	我々からご説明した時にエネルギースペクトルだとか、CMの話を取るということをご説明したんですけれども。
0:29:10	後程、それについてお話があると。
0:29:14	いうことだったんですけどこれは、
0:29:17	我々としては変更しようかと思ったんですけど、変更。
0:29:21	医療費はいかがなんですかね、こんなこと聞くも申し訳ないんですけども。はい。今ちなみにこれ添付書類には、この話ってのはしっかり書いてあるんでしたっけ。
0:29:33	添付書類はないですね、申請じゃないわけですね。はい。なければじゃいらないとっちゃっていいです。はい。
0:29:42	はい。結構です。サービスをいたします。ありがとうございます。
0:29:45	引き続き資料の2のシリーズお願いできますでしょうか。
0:29:50	はい。
0:29:52	まず、敷地周辺の地質構造についてということでございます。
0:29:57	ここでは、産総研のですね20万分の1府支出分の明示というのが、データベースが開発改正されましたので、
0:30:09	それについて敷地周辺の主な活断層の評価への影響。
0:30:13	それから、敷地で震源として考慮活断層、それぞれの評価への影響を、ご説明したいと思います。
0:30:22	1ページからですね、今回申請のうち地質評価の概要をまとめておりますけれども、内容が後と重複いたしますので割愛をさせていただきます。
0:30:33	4ページからでございます。
0:30:35	ここでは、20万分の1のヘッジ等、当社で震源として考慮する活断層との比較ということで説明をいたします。
0:30:45	5ページと6ページには、野辺地図の抜粋を記載してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:51	7ページをお願いいたします。
0:30:53	7ページですが、地質図複に記載されております内容、活断層の長さ と当社の麒麟鹿野活断層の長さの比較を実施しております。
0:31:06	横浜断層出戸西方断層、
0:31:09	神原小断層、これの真のF u j i i ずっとではそこだ当局と記載されて おりますけれども、市の西方断層の連動については、いずれも長さが、 後者の、
0:31:21	長さが埋まっているということでございます。
0:31:24	それから、森津福野六ヶ所撓曲につきましては当社が存在しないという 評価を行っております。
0:31:30	8ページをお願いします。
0:31:32	ここでは横浜断層について比較を行っております。
0:31:36	左側が当社の評価、右側が伸びる分の評価でございます、当社の非断 層長さはリスクを上回るということになってございます。
0:31:48	それから9ページをお願いします。
0:31:52	9ページは、井筒における横浜断層の北方の東方隆起という東京構造の 話でございますけれども、
0:32:00	この撓曲構造は横浜断層とは連続しないというふうにしてございませ う。
0:32:04	当社においても、西傾斜を有する急傾斜体として確認をしております、 双方の評価に差異はないということでございます。
0:32:17	それから10ページでございますが、これは東京構造の当社の調査結果 を示してございます。
0:32:26	その須賀花粉の上部堆積以降における活動はないということで判断をし てございます。
0:32:33	それから11ページでございます。
0:32:37	11ページは、出戸西方断層の比較でございます。
0:32:42	同様に左右で比較しておりますけれども、Aの野辺地づくの評価は、当 社の断層の長さを下回るという結果になってございます。
0:32:53	それから12ページでございます。六ヶ所撓曲ということございませ う、野辺地図福西示されてるのの六ヶ所当局でございますけれども、
0:33:04	六ヶ所東部の西方隆起の撓曲構造とされておまして、
0:33:08	当社は日本原燃の方で調査データを基に、
0:33:12	別途製法断層南方には、緩やかな向斜構造というものがあるものの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:17	造成法と断層との関係がないものというふうに判断しておりまして、リスクに示されている活褶曲としての六ヶ所断層は存在しないものというふうに考えております。
0:33:32	それから、13 ページでございます。時間、14 ページ。うん。
0:33:38	ここでは、
0:33:40	ノイズ少における、神原安保断層と、そこが撓曲とされされる構造の、
0:33:46	当社としては一戸瀬尾断層と呼んでおりますけどその比較でございます。
0:33:52	両者を連動させた長さが約 19 キロということになってございまして、伊豆副の評価を上回るということになってございます。
0:34:02	それから 14 ページでございますけれども、ここでは当社の市の西欧断層と、地震動日上評価している断層の長さ、これの比較を記載をしております。
0:34:17	それから、15 ページでございます。ここでは、当社の地質層序等の主婦の受層序の違いについて記載をしております。
0:34:28	D の地図と当初の層序におきましては、能勢のハイリズ副は、猿が森層泊層蒲野沢層を砂子又砂子又すを天田層という層序になってございますが、
0:34:40	当社の層序では、上位の二相についてそれぞれ目指す姿も出そうとしております。
0:34:46	両者の比較によりますと大局的に、同様の年来感に基づく層序区分であるというふうに考えられます。
0:34:55	の並立層では、高山口線下 1990 など用いられております。濱田層と砂子又層、砂子又層の、
0:35:04	名称を用いておりますが、当社は北村編、1986 になられまして、
0:35:10	敷地の周辺に分布する最新等から下部更新統を一括して砂子又層呼んでおります。
0:35:17	また上部中新統につきましては目指そうとっておりまして、ノイズの砂子又層に概ね対応するものというふうに考えております。
0:35:27	それから 16 ページには、野辺地づくると当社の実情、層序の比較を図にして示してございます。
0:35:37	続きまして 17 ページをお願いします。17 ページでは、A のループの須永砂子又層等、浜田層の考え、濱田層の考え方等と当社の目指すと繋がったその考え方を整理してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:51	出野江尻副では、名称については、
0:35:54	伴芳賀山口 1990 になって、砂子又層と浜田層というふうに分類しておりますけれども、各その年代につきましては、
0:36:03	羽賀山口 1990 年 6 異なりまして、当社と概ね同等のものとなっております。
0:36:10	当社の層序では、
0:36:12	稲村編 1986 になりまして、砂子又層と梅田層というふうに分類しております。蒲野沢の層のごく一部についても、目指そうというふうに分類をさせていただきます。
0:36:25	それからそれを踏まえまして 18 ページには、両社の地質平面図の比較を記載させていただきます。
0:36:35	それから 19 ページでございますけれども、目名層について、当社の評価した年代と、29 の評価した年代の比較をそれぞれ比較をさせていただきます。
0:36:49	続きまして 20 ページでございますけれども、当社の砂子又層について、東京電力の宇津調査所を、の調査や、東北電力が東京電力東京。
0:37:00	東北電力による調査、それから菅原ほか 197097 というもので、地質年代が記載されておりますので、それぞれの考え方について整理をさせていただきます。
0:37:15	それから 21 ページでございます。以上取りまとめますと、別の 2 点でございます。一つ目はの位置付けに示される断層及び撓曲の評価はいずれも当社が、
0:37:26	震源として評価する活断層の評価の範囲に包絡されるということと、二つ目は成熟に記載されている地層区分は、当社が評価した分布範囲及び年代の認定と、
0:37:39	同等であるということでございます。
0:37:42	最後に 12 ページでございますけれども、日本原燃が評価しております。段丘区分と我々の段丘区分の対比を
0:37:52	つけております。
0:37:53	説明は以上でございます。
0:38:00	はい。2 のシリーズですねまとめてお願いできますか。
0:38:03	はい。
0:38:05	それでは続きまして津波についてご説明いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:10	1 ページには概要を記載しておりますけど後、後段の説明と重複いたしますので省略をさせていただきます。
0:38:19	3 ページをお願いいたします。
0:38:22	内閣府及び青森県に対する考察ということでございまして、2020 年 4 月の内閣府の検討結果、これが計上されてございまして、
0:38:33	この検討では、ご案内の通りでございますけれども、日本海溝沿いに Mw9.1、千島海溝の Mw9.3 というモデルを設定してございます。
0:38:42	これを受けまして、青森県は同様の地震規模を考慮した、津波想定を公表しております。
0:38:49	4 ページをお願いいたします。宇都内閣公表のモデルというのが、日本海溝側と千島海溝側にそれぞれ是正をしております。
0:39:00	それから 5 ページでございます。
0:39:02	ここでは、内閣府の評価の中から、
0:39:06	さっきのモデルで評価した発行のうち、ムズムズしの津軽海峡側の発行を、
0:39:16	目測で、読み取りますと、概ね 13 メートルが 14 メートルということになってございます。図中の赤丸がついてる部分でございます。
0:39:26	それから、6 ページでございます。
0:39:29	その中で、検討結果として数字として載っておりますのが、むつ市、津軽海峡側の敷地前面において、
0:39:38	最大波高が 13.4 メートルということになってございます。
0:39:44	続きまして 7 ページでございます。ここでは、青森県の評価でございますけれども、ここでも無痛し、津軽海峡側の敷地前面海域で、
0:39:56	箱が 13.4 メートルということになってございます。
0:40:00	隣接東通村との境界付近でも、最大発行は、14 メートルわずかに超える程度ということでございます。
0:40:09	8 ページをお願いいたします。それでこれは青森県の浸水マップにとの重ね書きでございますけれども、標高 15 メートルの等高線が、
0:40:22	内側におさまっております、敷地の標高が 16 メートルということでございますので、ここでの審査浸水マップの範囲に、
0:40:33	敷地は含まれないということでございます。
0:40:40	10 ページでございます。以上のまとめでございますけれども、内閣府の検討を踏まえた青森県津波想定が公表されたことで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:49	その結果を踏まえても、既許可の仮想的大規模津波の評価結果の範囲内であり、評価の内容に影響を与え、変更与えないということでございます。
0:41:00	津波については以上でございます。
0:41:04	続きまして最後の火山でございます。
0:41:09	まず、3ページをお願いできますでしょうか。
0:41:15	今回の申請で、許可の変更時から変更となる部分の概要でございますけれども、
0:41:22	日本の火山データベース、日本の方のデータですが、更新されまして発泡ざくろ森井、それから八甲田八幡武が統合となりまして、
0:41:33	八幡だけ火山群ということになってございます。
0:41:37	今回の申請では、この八幡武火山分について、活動履歴を踏まえて、
0:41:43	施設に影響をおよぼし得る火山として抽出をしております。
0:41:47	個別の評価、影響評価の結果、既許可の時点から、評価に変更がないということで
0:41:55	その内容を確認しております。具体的内容は次のページからご説明いたします。
0:42:01	4ページでございます。
0:42:03	4ページ5ページには、統合前の発行ざくろ森井それから八甲田8万掛けを示しております。
0:42:11	これが統合されまして、6ページにある、
0:42:16	田島武田山ということになってございます。
0:42:19	8番武火山群につきましてはですね。
0:42:22	ページ、関心線に活動は行っておりませんが、最後の噴火から経過時間が、全活動期間よりも短いことから、
0:42:32	施設に影響をおよぼし得る火山ということで、
0:42:36	抽出をしております。
0:42:40	ですから7ページでございます。先ほどの話を受けまして、
0:42:46	フローの左上オレンジ色の部分。
0:42:49	火山の中心でございますが、二つの火山が一つの火山に統合されたということで、地理的領域内の第4紀の火山、
0:43:00	美瑛評価の時点では50火山、55火山でございましたけれども、これが54火山に変更になってございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:08	また、統合された地盤武火山につきましては、あかん申請に活動を行っていないものの、将来の活動性が否定できない火山として抽出されましたので、
0:43:19	これが 10 火山から 11 火山に変更となります。
0:43:23	その結果施設に影響をおよぼし得る火山が 24 火山から 25 火山に変更となっております。
0:43:30	フローの黄色の部分、個別評価赤の影響評価につきましては、期間の申請と、次のフローと同様のフロー同様のフローで、
0:43:40	評価を行っていらっしゃるしまして、評価結果に大きな大きな変更がないということを確認してございます。
0:43:48	8 ページをお願いいたします。ここでは施設に影響をおよぼし得る火山の抽出について変更箇所をご説明いたします。
0:43:58	昼ページをお願いいたします。
0:44:00	ここで、
0:44:02	画面、紙面の右側でございますけれども、中段にあります。
0:44:07	45 番の 8 番武火山群、これが従来の発行ざくろ森井それから八甲田八幡岳から変更になっておりまして、
0:44:15	地理的領域内の第 4 紀の火山というのを 50 が凄さ 55 か 3 から、54 火山に変更してございます。これ、これに伴いまして、46 番以降、番号が繰り上がりまして、
0:44:29	傘の番号を変更してございます。
0:44:33	それから 10 ページをお願いいたします。一番武火山群につきましては、衛藤さん新鮮で活動を行っておりませんので、川岸線、菅申請に、
0:44:45	活動を行った火山の抽出、これについては変更ございませんが、火山の番号だけ変更になってございます。
0:44:57	それから 11 ページをお願いいたします。
0:44:59	江藤間新鮮に活動を行っていないけれども、将来活動性が否定できないあざについてございます。
0:45:07	文章が書いてございますけれども、三つ目の山田のところ赤字になってございますが、八番武火山を追加しまして、15 日前ということに変更を行っております。
0:45:20	それから、12 ページでございます。中段の C、下の辺りに、45 番のところ八幡武田さんに追加しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:30	活動期間と、それから噴火からの経過時間の関係から、将来活動性が否定できない火山と抽出しているということになります。
0:45:41	それを受けまして 13 ページでございます。
0:45:45	施設におよぼし影響をおよぼし得るパターンのまとめでございますけれども、
0:45:51	うん。
0:45:53	数値が変更になったということでございます。火山とか数値が、
0:45:59	変更になったということになってございます。
0:46:02	それから、これ以上が影響をおよぼし得る火山ということの説明になります。
0:46:08	続きまして 14 ページをお願いいたします。
0:46:11	ここではフローの黄色の部分、個別評価の変更箇所についてご説明をいたします。
0:46:19	15 ページをお願いいたします。
0:46:25	ここではですね、設計対応不可能な火山事象が施設に応用保守、提供について検討すると。
0:46:31	ということございまして、
0:46:33	角田さんからの、
0:46:36	築地までの距離を評価しており、結果でございます。
0:46:41	こちらの表に、八幡武火山群を追加してございます。
0:46:46	それから 16 ページをお願いいたします。評価対象になる設計対応不可能な火山でございますけれども、敷地の、からの距離ということを踏まえまして、
0:46:56	八幡武火山群につきましては一番左側の列。
0:47:00	火砕物密度流ですね、これを評価対象とするということにしております。
0:47:09	それから 17 ページでございます。火砕物密粒の影響評価でございますけれども、休暇申請に評価しております通り、
0:47:18	むつ火打だけ恐れ山を除く除きまして、火砕物密度流が敷地に到達していないと考えられるという評価に変更はございません。
0:47:30	それからー。
0:47:32	少し飛びまして、22 ページでございます。
0:47:37	ここからは、フローの左下、
0:47:41	赤枠内の影響評価の変更箇所について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:46	ご説明いたします。
0:47:48	また少し飛んでござい、申し訳ございません、26 ページの最初にお願いいたします。
0:47:55	火砕密度流、降下火砕物の影響評価でございますけれども、
0:48:01	8 番だけが残分をここに追加しております。
0:48:04	文献調査の結果、降下火砕物の発生は認められますけれども、
0:48:09	噴出量や等圧線浅部の知見とかいったものは確認できませんので、
0:48:17	発生したとしても小規模であって、施設に影響を及ぼすものではないというふうに評価をしております。
0:48:25	戻りまして、23 ページをお願いします
0:48:31	検討対象の選定フローに変更ありません。28 ページ以降、降下火砕物の
0:48:40	影響評価でございますけれどもこれについても変更ございません。
0:48:46	それでは次に降下火砕物の影響評価ですが、29 ページをお願いいたします。
0:48:57	ここに左の表にですね、45 番の八幡武火山群、これを加えております。
0:49:03	次の 30 ページ 31 ページでございますけれども、
0:49:08	降下火砕物以外の火山、火山事象の評価額で良いことで、
0:49:14	火山性土石流で流ということにつきまして、許可の段階からこれを見直すということにはなってございません。
0:49:22	最後に 32 ページでございますけれども、
0:49:26	全体のまとめでございますけれども、は、8 番武火山群の統合に伴いまして、
0:49:33	地理的影響、地理的領域内の火山の数、
0:49:38	それから施設に影響をおよぼし得る火山の数に変更となりますが、
0:49:42	個別評価影響評価についての変更はございません。
0:49:46	すいません。ちょっと早津、大変申し訳ありませんが、説明は以上でございます。
0:49:53	はいありがとうございました規制庁側から何かをお願いします。
0:49:58	はい。規制庁佐藤ですけども。
0:50:00	資料 2-1 は、
0:50:03	これも東北電力と情報共有されているというふうな感じで受け取ったんですけども、昨年 9 月の 197 日の審査会合で、東北電力東通に
0:50:15	コメントした内容を反映していただいているという理解でよろしいですかね。その時の、申し上げたのは二つあって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:25	一つはその層序の問題ですねそういう相乗問題というかその実地質図吹くと、
0:50:32	野辺地づくとも層序がちょっと違いますというふうな話。
0:50:36	それから後はへ、下北断層、横浜断層ですね失礼、横浜断層の
0:50:45	北方のですね、朝比奈大楽西方の撓曲構造についてということで、それも資料に織り込んでいただいていると。
0:50:54	いうふうな理解をするんですけども、その2点、対応したという理解でよろしいですか。
0:51:01	はい、おっしゃる通りでございます。
0:51:06	その時に石渡委員からですねこの層序についてはですね仮称として表記してくださいということとそれから今後申請書、補正申請をされる。
0:51:17	際にはですね、その待避所対比表みたいなものを入れて欲しいという、多分リクエストがあったと思うんですそこ、そこもフォローしていただいているのでしょうか。
0:51:28	はい。対比表という形はなっておりませんが各名称からですね、注記を飛ばして、価格云々に相当するということを申請書の中に記載をさせていただきます。
0:51:40	了解しました。
0:51:42	地質の方は以上です。
0:51:44	津波の手法なんですけども、津波の方はですね結局、まずお願いが既許可の時の資料での再掲であるものは再掲と右側の方につけていただいた方が、
0:52:02	よろしいかもしれませんけども。
0:52:04	まずその点申し上げておきます。
0:52:06	それから今回は、要するに、内閣府 2020 に基づいて青森県がこれ津波想定をして、
0:52:16	それが7ページですか。結局、
0:52:20	新しい情報として7ページで、
0:52:23	むつ市と東通の境界付近では、
0:52:27	14メーターをわずかに超える程度っていうのが新しい情報だと思えばよろしいですかね。
0:52:34	はい。
0:52:35	それに加えて8ページのところどっか出たんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:41	6 ページのデータもそうなのですが、津波評価から拾ったものでございます。
0:52:46	これはないことだと思います。はい。野辺失礼いたしました。
0:52:53	多分内閣 2020 協評価の時に多分資料に織り込んでいただいているんですけども、ちょっとそこを確認さしてください。はい。
0:53:03	なのでそれに基づいて自治体として計算をして、7 ページが多分新しい情報だというふうに認識してはいますが、7 ページ、8 ページか後。
0:53:12	浸水マップ。
0:53:15	はい。
0:53:17	おっしゃる通りですねそれでよろしいですねございます。はい。
0:53:20	はい。
0:53:23	それからとか山はこれも月曜日本原燃から聞いたので、数は変わるんですけども、別に既許可の、
0:53:34	に影響するものではありませんということで実際から結構丁寧に変わったところを全部資料化していただいて、今ご説明していただいたという認識をしておりますけども。
0:53:45	そういう理解でよろしいですかね。
0:53:50	はい。我々の考える限りで、そのつもりで資料を作成するつもりでございます。
0:54:01	佐藤です。了解しました。
0:54:03	資料の構成なんですけどもこれいずれもですね、許可後の機器、新知見の反映ということで、
0:54:12	この三つの資料をちょっと一つにまとめていただいて、
0:54:17	説明もですね、多分、日本原燃が先にやると思うのでそれとの差分とかがあるところだけ、多分ご説明いただいた方が、
0:54:27	よろしいかなと思うんですけども。
0:54:30	チーフの方はね、東北電力と多分御社、
0:54:35	非常に今の場所が近いので、
0:54:37	この辺は少し日本原燃よりも、説明する時間が少しあるのかなと思うんですけども、それぐらいですかねここはね。
0:54:46	ということでちょっとパッケージにさせていただいてこれ資料を一つにさせていただいた方がよろしいかも思っています。
0:54:53	私から以上です。はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:56	すみませんちょっと1点だけ申し上げます先ほどちょっと私、誤解を招く、前回の申請はカバーして2010内閣2019まで、
0:55:06	をカバーしておりました、今回の新たなものについてはカバーされていないということで、申し訳ありませんでした。
0:55:13	そうでしたっけ。そうずっと、もう1回ちょっと確認ですけども。
0:55:17	津波の資料で2-2なんですけど、
0:55:21	そうするとこれ全部新しい情報かな。
0:55:25	2020というのがそもそも新しい。
0:55:29	そうです。はい。
0:55:31	そうずっとこれも全部新しい資料ということでいいですか。
0:55:36	再掲というのはないっていう理解でいいですかね。今現時点での最終の情報という。
0:55:42	了解しました。
0:55:45	すいませんナガイですけどねちょっと確認ですけど、さっき言った内閣2019って何ですかね。次、地震調査研究推進本部2019であれば、はい、わかりました。はい。
0:56:08	他にありますか。
0:56:14	すいません規制庁の方です資料2-2の津波のところの1ページ目で少し確認をして、
0:56:21	行きたいんですけど。
0:56:23	他の評価の中の二つ目のポチこれ概要と書いてあるんですけども書き方としてはこのままの書き方なんですけど
0:56:29	何か修飾語とかないんですか、十分な裕度を持つためにとか、
0:56:36	2倍の話でございますか。はい、そうです。
0:56:40	はい。
0:56:44	もともと我々の認識としては、安全にそして取ってるという意味ではなかったんで、余裕ということよりは、事実関係として淡々と二倍を設定したと。
0:56:55	ということで、こんな記載にしております。
0:57:00	そうするとその下、丹羽岩根、当然その嫌だと思んですけど、
0:57:08	なぜこうしたということはどこにも書いてないすかね審査資料でもいいんですけど。そうですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:14	おっしゃる通り種既往の評価があって、それを踏まえて、将来的に考えても十分な余裕ということではおっしゃる通りでございますので文書を出したいと思います。
0:57:28	わかりました。多分そういう説明でないと青森県を二倍することが皆さんの何か考え方のようにも見えてしまうのでそこは正確にというかですね、必須をちゃんと織り込んでいただいて書いていただいた方がいいのではないかと思います。
0:57:40	考え方としてはおっしゃる通りで多分将来少しぐらい変わったとしても、十分だね、余裕を持ってれば、23 メーター。
0:57:46	下にしておけば、変更する必要ないよねとそういう意味ですよ。はい、わかりました
0:57:51	ここはちょっと
0:57:52	記載を少し、
0:57:53	変えてみてください。あと、加算のほうの許可の話なんですけど、29 ページのところもですね皆さんいわゆるその他の火山。
0:58:02	例えば、津波及び精神とか大気現象とこれ結果は 31 ページの一番右の欄のことになるんですか。
0:58:14	ちょっとごめんなさい。
0:58:15	機能していない。
0:58:17	資料の 29 ページの、
0:58:23	9 ページ、すいません、29 ページですねいわゆるガイドのところの 9 ポチ 10 ポチとかですね、12 ポチ 13 ポチってこれ赤枠でくくってますけどこれについての評価結果というのは、
0:58:34	31 ページのその他の火山事象とある右側という、一番右の欄、これが、
0:58:40	この、これに該当するところです。
0:58:43	そもそも通りでございます。
0:58:47	わかりましたの。
0:58:49	はい、了解しました。
0:59:13	他になければですね先ほど佐藤からありました通りこちらのその他のものについては、資料 1 までにしていただくということとともに
0:59:24	先ほどこれ私が申し上げた通り順番は、原燃が最初なので同じような説明というのは多分、
0:59:29	必要ないのかもしれませんが説明の仕方について考えといていただけますでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:35	はい、承知いたしました。
0:59:52	はい。うちからは当方からは以上ですが、何か。
0:59:57	確認したいことありますか。
1:00:01	資料のお届けの話はまた別途、それ別途、ロジ的な話を進めて別途調整していただければと思いますが。
1:00:11	はい。ありがとうございます。以上でございます。
1:00:14	はい。お疲れ様でしたヒアリングについては以上にしたいと思います。 ありがとうございました。
1:00:19	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。